

6

演 題 カブトムシ物語 ～つなぐ～

法人名 社会福祉法人 くすの樹会

施設名 銀杏保育園／銀杏保育園胡桃館

発表者名  
(職名) 萬両 里奈  
保育士

発表者名  
(職名) 高橋 彩  
保育士

発表者名  
(職名)

住所 横浜市戸塚区吉田町3001-1

TEL 045-392-8364 FAX 045-392-8365

メールアドレス kusunokikai\_ginnan@yahoo.co.jp

URL www.kusunokikai.ed.jp

定員 60名／44名 職員数 50名

発表の概要・内容

〈はじめに〉

銀杏保育園・銀杏保育園胡桃館では、3・4・5歳の幼児については異年齢保育を行っています。多彩な人間関係の中で、遊びや日常生活を通して大人が指示しなくても子どもから子どもへ伝承されていく事を目指しています。

〈実践内容：カブトムシ物語の始まり〉

- ・昨年7月の終わりに近所の電気屋さんからチラシをもらい、太陽会議(年長会議)を開いた結果、飼う事に決まった。
- ・太陽(年長児クラス)中心にカブトムシのお世話をする。
- ・命に対する責任感や尊さを知る。
- ・新しい命の誕生。
- ・新太陽へ引継ぎ。

〈まとめ：カブトムシを通して〉

カブトムシを通して、虫が苦手だった子も触れるようになったり、毎日の観察が日課になり、責任感が芽生え始め、保育士が気付く前に子どもから発信するようになった。また、昨年度の太陽の姿を見ていた現太陽はしっかりとお世話を引き継いでいます。また、保育者と子どもの対話、子ども達同士の対話が広がり、みんなの前でも自分の意見を言えるようになった。

メモ